

研究課題名

結核菌の型別および薬剤耐性検査に資する遺伝子検査法の検討

研究の概要

東京都における2019年の結核罹患率（人口10万対）は13.0で、年々減少傾向にあるが、全国の11.5と比較すると依然として高い状況である。感染対策や発生動向の把握・分析のためには、遺伝子型別や薬剤感受性試験から得られる情報の蓄積が重要である。近年、結核菌の疫学解析においてNGSを用いた遺伝子解析の活用が注目されている。現在当センターで実施しているVNTRによる型別と培養による薬剤感受性試験の結果を、NGS解析から得たデータと比較し、日常検査や調査におけるNGSの有用性を検討する。

積極的疫学調査事業に基づき搬入された検体の患者を研究対象とし、疫学情報を活用する。また、研究材料として分離済みの結核菌株に加え、患者喀痰、気管支洗浄液、胃液を用いる。

研究期間

令和3年度から令和5年度まで

研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター
所長 吉村 和久

研究責任者の氏名

微生物部病原細菌研究科
長谷川 乃英瑠

オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。